

人間ばん馬とクラフトのまち おけと

議会だより

2017.2.1

vol
181

発行／置戸町議会 編集／議会広報特別委員会



オープンを待つ勝山温泉ゆうゆ

おもな内容

第9回定例会、臨時会

- ・補正予算、条例、同意など…… 2～3P
- ・一般質問(5議員) ……………… 5～9P
- ・道内所管事務調査報告等…… 10～11P

委員会の活動状況 ……………… 12P

■一般質問の項目

- ▶国民健康保険制度の道移管に及ぼす影響は……………外1件／佐藤議員
- ▶役場職員の超過勤務と健康管理について……………／嘉藤議員
- ▶仮称地域間バスの早期運行を……………外1件／岩藤議員
- ▶置戸町の健康づくりとスポーツ振興について……………／阿部議員
- ▶町有林整備基金の創設について……………／小林議員

12月定例議会

平成28年第9回定例会は、12月14日から15日まで開催され、5議員の一般質問と一般会計の補正予算、条例、同意、認定等を審議・可決し、閉会しました。

条例

勤勉手当の支給に関する条項を改正しました。

める条例の一部を改正する条例

の総額をそれぞれ53億909万9千円としました。

置戸町勝山活性化センター設置条例の制定について	—原案可決—	置戸町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について	—原案可決—	置戸町税条例等の一部を改正する条例	—原案可決—
設置及び管理について必要な事項を定めました。		農業委員会等に関する法律の改正により、町議会の同意を要件とした町長の任命制となることを定め、現行の定数条例は廃止されました。	国税法、地税法の改正に伴い、条例の一部を改正しました。	国税法、地税法の改正に伴い、条例の一部を改正しました。	勤勉手当の支給に関する条項を改正しました。
置戸町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	—原案可決—	置戸町指定地域密着型介護休暇の分割や介護時間の新設、育児休業法の改正に伴い、条項の一部を改正しました。	—原案可決—	置戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例	—原案可決—
置戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する	—原案可決—	介護休暇の分割や介護時間の新設、育児休業法の改正に伴い、条項の一部を改正しました。	—原案可決—	配当所得を国保の所得割に算入するなど条例の一部を改正しました。	介護保険法の一部改正に伴い、条例の一部を改正しました。

補正予算

介護保険法の一部改正に伴い、条例の一部を改正しました。

工事請負

工事請負変更契約の締結について

—原案可決—

工事の請負金額の変更

置戸地区簡易水道再編推進事業秋田送水ポンプ場外建設

工事の請負金額の変更

変更前 1億1772万円

変更後 1億800万円

平成28年度置戸町一般会計補正予算

—原案可決—

歳入歳出予算を6212万8千円追加し、歳入歳出予算

一般会計補正内訳

(単位:千円)

主な補正内容	補正額	増減
番号制度導入に要する経費	1,100	増額
庁舎の維持管理に要する経費	790	増額
定住促進事業に要する経費	1,000	増額
地域公共交通対策に要する経費	4,025	増額
臨時福祉給付金に要する経費	13,694	増額
認定こども園等運営に要する経費	4,500	増額
農地中間管理事業に要する経費	2,626	増額
強い農業づくり事業補助金	14,170	増額
建設機械管理に要する経費	2,800	増額



佐藤勇治議員

国民健康保険制度の道移管に及ぼす影響は

町長 大きな負担にならぬよう注視していく

A ①については道が財政運営の責任主体となり市町村ごとの国保事業費の納付金を決定し、併せて財政安定化基金の設置、運営をすることになります。市町村は、この国保事業費の納付金を北海道に納付し、保険証の発行等、資格の管理を行います。保険料の決定は北海道の標準的な算定の方法により、市町村毎の標準保険料率を算定して公表します。市町村は、

担はどのように行われるのか。
②道移管に伴う広域化による利点はどのようなものか。
③道移管によって標準化された算定で、負担が大幅に増額しないか。

るための法改正と認識しますが次の3点について伺います。
①北海道と市町村の役割分担はどのように行われるのか。
②道移管に伴う広域化による利点はどのようなものか。
③道移管によって標準化された算定で、負担が大幅に増額しないか。

標準保険料率を参考にして保険料率を決定し賦課徴収を行います。保険の給付について、北海道は給付に必要な費用を全額市町村へ支払い、市町村の行つた保険給付の点検を行います。
②についてのメリット、改善点では安定的な財政運営、効率的な事業の確保等、国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化が図られることを期待しております。市町村にとつては、事務の標準化、効率化、広域化が図られると思っております。
③については国の基本的なルールによつて医療費水準が同じで、所得水準が高いといふ場合は、保険料は高くなりますが、また、所得水準が同じで医療費水準が高い場合も、やはり保険料は高くなります。今回の試算結果を一つの叩き台として、平成29年、具体的な協議を行い、11月には納付金の概算額、平成30年1月には正式な納付金が示される予定になつております。

標淮保険料率を参考にして保険料率を決定し賦課徴収を行います。保険の給付について、北海道は給付に必要な費用を全額市町村へ支払い、市町村の行つた保険給付の点検を行います。
②についてのメリット、改善点では安定的な財政運営、効率的な事業の確保等、国保運営に中心的な役割を担い、制度の安定化が図られることを期待しております。市町村にとつては、事務の標準化、効率化、広域化が図られると思っております。
③については国の基本的なルールによつて医療費水準が同じで、所得水準が高いといふ場合は、保険料は高くなりますが、また、所得水準が同じで医療費水準が高い場合も、やはり保険料は高くなります。今回の試算結果を一つの叩き台として、平成29年、具体的な協議を行い、11月には納付金の概算額、平成30年1月には正式な納付金が示される予定になつております。

Q 役場庁舎は平成25年度に耐震診断を行いました。この間、置戸中学校、今年度はファミリースポーツセンターが耐震補強と併せて大規模改修を行いました。耐震化補強対象の公共施設としては、役場庁舎のみが残っています。

A 役場庁舎は平成32年度に事業実施の予定である

れないうに、関係機関や町の国保運営協議会とも連携し、いろんな角度で検証しながら制度の進み具合を注視していくなければならないと思っております。

Q 全道的には半数以上の93の市町村が上昇、そして下がるのが83の市町村ということです。本町においては、20%を超える上昇率にならざりません。しかし、現実は上回っている状況です。今、私がここで期待されるような発言は、控えるべきだらうと思います。第一次産業の農業を営んでいた人たちの所得水準は高いことも認識しておかなければなりません。いずれにしても、そう遅くならないようこの問題について明らかにしたいと思います。

ます。建築後、大よそ50年近くなるとしている役場庁舎は行政の司令塔です。地震はいつ起こるか予知できません。今後、耐震診断に基づき、早期の耐震化工事に着手すべきと認識しますが考えを伺います。

A

本町では、平成23年の2月に、置戸町耐震改修促進計画を策定いたしました。そこで、役場庁舎ということになるわけですが、建築後48年が経過しております。役場庁舎は災害時の対策本部になることから先延ばしにしているわけにはいかないと思っています。第5次総合計画の後期計画、平成31年度に実施設計費を計上しています。従つて、32年度に事業実施をする予定で、エレベーターの設置等、機能向上の観点も含め財政的なことも考慮しなければなりません。

耐震改修の費用はおよそ1000万円で、50年経ついる庁舎がこの先何十年も使うと想定し、改修の費用をより有効的な形で考えるとすれば、耐震改修に併せて大規模改修も考えなければならないと思っています。決して先延ばしにしているわけではありませんので、「理解をいただきたい」と思っています。

Q

平成27年度一般会計、特別会計決算、基金運用状況を調べた監査委員の審査意見書において、職員の超過勤務状況と健康管理についての項目がありました。超過勤務については500時間を超える職員が7名おりました。また、ストレスチェックにおいては、105名中18名が高ストレスにあるとされており、100周年事業があつたとはいえ異常な状況であります。

負担を分担する機構改革等早急な対策が必要と考えますが、今後の改善策について伺います。



嘉藤 均議員

役場職員の超過勤務と健康管理について

町長 人事、機構の見直しで適材適所を

具体的対策としては、毎週

▼置戸町役場



水曜日をノー残業デーと設定したり、午後10時以降の原則庁舎への入室禁止等の措置を図つてまいりました。労働者50名以上の事業所についてストレスチェックが義務化されており、平成22年からメンタルヘルスの健診を実施しております。メンタル不調の未然防止の仕組みを取り入れてますが、高ストレスを抱える職員が18名いることも承知しており、専門医への受診の勧奨も行つております。体の病気や心の病気には、

新人職員の日常的な指導、研修を通じて育成を図ることも専門職員の採用により業務の充実を図つているところです。また、現在職員も非常に若返つております。この数年の中で一人前になり大きな活躍を期待するとともに、専門医を中心にしてストレス等にも対応していきたいと考えます。

まちづくりも仕事の上で最も重要なのは人です。それは町職員だけではなく、町民も同様です。その根本は自分自身の健康であると思います。